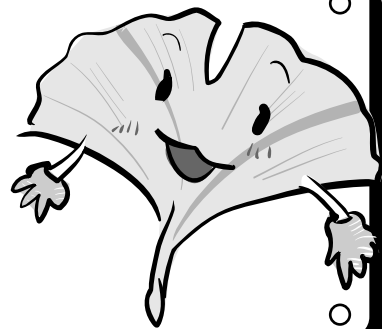
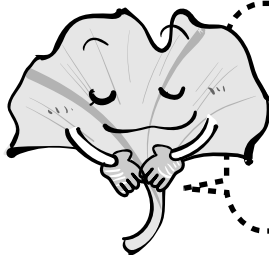


「より良い交通」のあり方を考える
地域検討会
嘉川・佐山



山口市都市整備部都市計画課交通政策室



11月9日(木)、嘉川・佐山地域を対象とした地域検討会を嘉川公民館で開催したところ、26名の方にご参加いただきました。ご参加の皆様、ありがとうございました。以下に当日の状況をご報告します。

プログラム

18:30~

開会 あいさつ
資料説明
旗上げアンケート
公共交通の課題、問題点
よりよい交通に向けてのアイデア
まとめ

20:30

閉会



旗あげアンケート

まずは旗あげアンケートで、皆さんの意見を聞きました。



そもそも、車で来ることのできる方しか参加できないことに、疑問の声が上がりました。また、公共交通への不満理由として、「通らないところがある」という意見がありました。



皆さんの意見

地域の実情について

- ◇佐山はスーパーが無く、病院も少ないため、他の地域とは比べものにならないくらい不便。買い物・通院は主に阿知須へ出ている。
- ◇公共交通の無い地域に住んでおり、90歳まで自動車を運転するつもりだが、「危ないから」と周りには止められる。自転車は今更乗れないので、移動手段が無くなってしまう。
- ◇佐山の生活基盤は阿知須。合併して同じ市になったのだから、別々に考えるのではなく、相互の交流を考えてほしい。

コミュニティバス川西ルートについて

- ◇車いす対応で無いため使うことができず、宇部線を使っている。車いすに対応したバスの導入を考えてほしい。
- ◇駅に近い地区で運行しているのに、公共交通の無い不便な地区に、なぜ運行をしてもらえないのかという不満の声を聞いた。
- ◇現在の川西ルートは住民にとって最低限の手段なので続けてもらいたい。今後は運転できない高齢者が増え、特別養護老人ホームもできるので、利用者が増えると思う。
- ◇川西は、路線バスが撤退してしまった地域。コミバスはそれを補っており、高齢者は喜んでいる。
- ◇交通が不便な地域は、たとえ赤字であっても運行すべきだと思う。
- ◇山口市は他の市と比べてコミュニティバスの経営状況が悪いので、経営努力すべきだと思う。

地域に合った交通について

- ◇幹線は路線バスに切り替え、便は少なくとも良いので、過疎地にコミュニティ交通を運行することで、高齢者の足を確保してほしい。
- ◇乗り換えが必要な方法では、待ち時間や運賃など負担がかかると思う。直接阿知須まで行ける様にしてもらいたい。
- ◇阿知須の地域バスとコミュニティバス川西ルートを再編して、併せた形にすれば良いと思う。

その他

- ◇福祉優待パスで市内を100円で移動できるが、安すぎて申し訳なく感じる。利用者の負担を300円ぐらいにして、差額をコミバスの運行経費に回せないかと思う。
- ◇協議会を定期的で開催して、住民の意見が市に通じるようにしてもらいたい。

…などがありました。

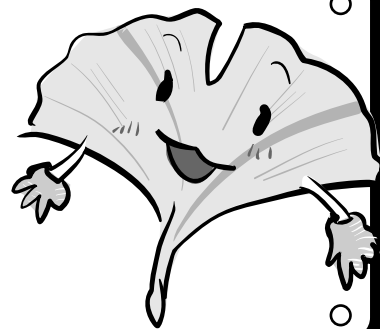


交通まちづくり委員の意見

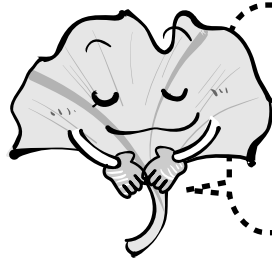
- ◇コミバスを運行していない地域の人でも税金を払っており、そういった意味では不公平とも言えますので、皆で経費のかからない運行方法を考えて、より多くの地域で運行できるようにすることも必要ではないでしょうか。
- ◇地域の特色が一番わかるのは地域の皆さんです。行政にまかせきりでは良いものづくりは難しく、各地の成功事例は、地域がそれぞれの実情に合わせて編み出しています。地域でできることはたくさんあり、そのアイデアは地域での話し合いの中で生まれると思います。
- ◇コミュニティ交通を次の代に続けていくなれば、赤字を垂れ流しにはできませんが、地域が全てを負担する訳にもいきません。また、ルートなどは地域の話が聞かなくても、聞き過ぎてはだめになってしまいます。これらについて、どこかで折り合いをつけるには、皆で話し合う必要があります。
- ◇今回が地域の結論ではありません。コミュニティ交通にはいろいろな方法があるので、今後も様々な提案を出して、討論していただきたいと思っています。

「より良い交通」のあり方を考える 地域検討会

陶、鑄銭司、名田島、秋穂二島



山口市都市整備部都市計画課交通政策室



11月10日(金)、陶、鑄銭司、名田島、秋穂二島地域を対象とした地域検討会を名田島公民館で開催したところ、16名の方にご参加いただきました。ご参加の皆様、ありがとうございました。以下に当日の状況をご報告します。

プログラム

18:30~	開会 あいさつ 資料説明 旗上げアンケート 公共交通の課題、問題点 よりよい交通に向けてのアイデア まとめ
20:30	閉会



旗あげアンケート

まずは旗あげアンケートで、皆さんの意見を聞きました。



陶、鑄銭司、名田島、秋穂二島という、4地区からバランスよくご参加いただきました。公共交通の不満の理由として、「便数が少ない」という意見が大半を占めました。



皆さんの意見

地域の実情について

- ◇陶は小郡への交通需要が多いが、バスの便数が少ないので、高齢者の中で非常に不満がある。特に昼の便が無い。
- ◇今は運転をしているが、年を取ってくると、自分の身体の衰えを感じる。一方、地域では90歳の方が運転をしており、事故の無いうちに止めさせたいと考えている。自分で運転しなくても買い物や病院に行ける交通があれば良いと思う。
- ◇駅やバス停のある幹線まで出るのが大変。電動カーで出て、停留所に置いてバスに乗る人もいる。
- ◇高齢者の中には交通手段が無いため、車にしがみつくようにして、ようやく乗っている人がいる。
- ◇車を運転できなくなったら、タクシーが便利だと思うが、運賃が高いため、さすがに毎日使えない。
- ◇川西はコミュニティバスがどんどん走っているのに、川東には無いので不公平な感じがする。

地域に合った交通について

- ◇ドアトゥードアの形に近いものなら、買い物にも病院にも便利が良くなると思う。
- ◇秋穂二島から阿知須の病院に通う方は、一旦小郡に出て鉄道に乗り換え、2時間ぐらいかけて行っている。良い道路や橋があるのだから、阿知須に行く公共交通を考えてはどうだろうか。
- ◇病院に薬を取りに行くのは2週間に1回。地域で申し合わせをすれば、タクシーを乗合で使う方法もあると思っている。
- ◇乗合タクシーをするなら、誰が取りまとめ役となるのか？自分で世話をしようという人は中々いないと思う。
- ◇病院に提案して一度断られてしまったが、診察を地域でまとめてできるような話になれば、タクシーの使い道が増えると思う。
- ◇受付をタクシー会社でやってもらい、電話予約をしたら、ある程度決まった時間帯に運行するコミュニティ交通を行政の補助を受けながらできないだろうか。
- ◇合併したのだから、陶・鑄銭司・名田島・秋穂二島を小郡まで結ぶ、骨格となる交通をつくり、それと小さな地域をつなげるコミュニティ交通を考えた方が良いと思う。
- ◇構想が大きくても、営業利益が伴わなければ撤退ということになるので、そのあたりを考えるべきだと思う。
- ◇駅やバス停にコミュニティ交通が接続すれば便利が良いと思う。

その他

- ◇高齢者の中には、車はおろか火を使えず、家族に頼っている方もいる。交通の問題は、そういう方達の命をどのように守っていくかということでもある。
- ◇食料品や通院の他にも日常には様々な用事があるため、そこを考えた交通が必要であるが、バスであちこちという訳にはいかないの、まちづくりを含めて考えてほしい。

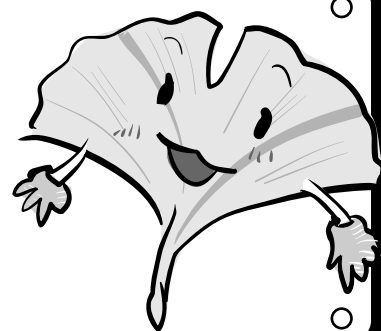
…などがありました。



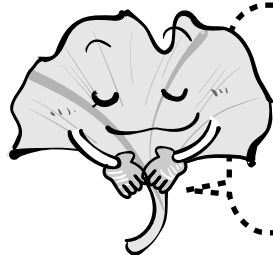
交通まちづくり委員の意見

- ◇この地域には、この地域の特色とそれにあつた交通があると思います。例えば山陽本線という幹線は大きな特色で、ここを利用しない手は無いと思います。
- ◇今後は勉強会を開催予定ですので、そこで具体的な話を進めていけば良いと考えています。今まで経験の無いことかもしれませんが、この検討会を機に、川東の自治会でまとまって話し合いを始めてみてはいかがでしょうか。
- ◇この地域は要望だけでなく、「どうしよう」と一緒になって考えているところが素晴らしいと思います。しかし、コミュニティ交通を地域だけで考えるには限界がありますので、行政からメニューを出してもらい、それを基に話し合つて、様々なアイデアを出していただきたいと思います。そして、是非、良い「まち」をつくっていただきたいです。

「より良い交通」のあり方を考える
地域検討会
— 仁保・小鯖・大内 —



山口市都市整備部都市計画課交通政策室



11月15日(水)、仁保・小鯖・大内地域を対象とした地域検討会を大内公民館で開催したところ、29名の方にご参加いただきました。ご参加の皆様、ありがとうございました。以下に当日の状況をご報告します。

プログラム

18:30~	開会 あいさつ 資料説明 旗上げアンケート 公共交通の課題、問題点 よりよい交通に向けてのアイデア まとめ
20:30	閉会



旗あげアンケート

まずは旗あげアンケートで、皆さんの意見を聞きました。



公共交通に対しては、「満足」「まあまあ」という意見もありましたが、全体的には不満と感じておられる方が多くおられました。バス停・駅までの距離や便数に対して不満を持っておられるようです。



皆さんの意見

地域の実情について

- ◇上小鯖から幹線のバス停まで数kmあり、歩いていくのは難しい。若宮病院から上小鯖を回るコミュニティバスを走らせてほしい。
- ◇足の悪いお年寄りは、管内の奥からバス停まで歩くのに40分かかる。奥の方にもコミュニティバスを走らせてほしい。
- ◇中村は広い県道ができて、バスを走らせるのに十分だと思うが、コミュニティバスを走らせてもらえない。

現在のコミュニティバスについて

- ◇運賃収入が少ないと言われるが、乗客を増やす努力が足りないのではないかと。運賃を安くして多くを乗せた方が良いのでは。
- ◇コミュニティバスについては、今までも要望を上げているので、それに対する明確な回答がほしい。
- ◇コミュニティバスの本質は福祉だと思う。福祉事業であれば赤字という概念は無いのではないかと。1路線2,000万円のできるのなら安いと思う。
- ◇コミュニティバスという名称は固く感じる。もっと親しみやすい名前にして、小型にするなども考えてみては？
- ◇年金生活の方には、運賃200円は高いと思う。

これからの交通について

- ◇こういった会をもっと開いて検討すれば、良いアイデアが生まれると思う。
- ◇ボランティアが自家用車で送迎している事例を新聞で見た。そういう方法は考えられないか。
- ◇仁保上郷でコミュニティタクシーの要望があるので、行政や事業者は検討してほしい。
- ◇住民主体で行っているコミュニティ交通の実例を紹介してはどうか。
- ◇組織があり、話し合いができる地域もあるが、無い地域もある。無い地域には行政が手を差し伸べる必要があると思う。

タクシー業者の意見について

- ◇タクシー業界はコミュニティバスで減収となったが、全てに反対しているわけではない。また、タクシー業界も高齢者割引や車いす対応タクシーなどで地域に貢献している。
- ◇フィーダー交通としてコミュニティタクシーを考えるならば、周南市が運行予定の乗合タクシーなどの例を参考にしてみてもどうか。

…などがありました。

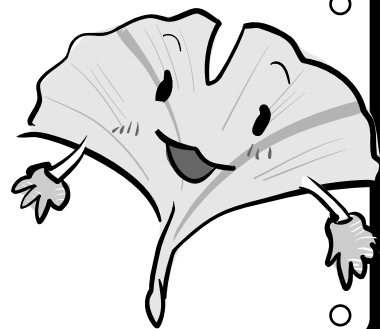


交通まちづくり委員の意見

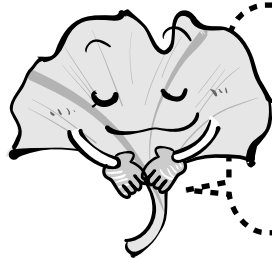
- ◇今のコミュニティバスは一定の効果は上げているが、今の方法で多くの地域の問題を解決できるとは思えない。方法はいろいろあるので、皆が当事者として考え、様々な可能性やアイデアを出していただきたい。
- ◇今日の検討会を1つのステップとして、地域でも交通の問題を考えていただきたいと思います。
- ◇負担をするからこそ、意見が強くなる面があると思う。強い意見を出すことで、より良い交通になっていくのではないのでしょうか。
- ◇事業者・行政にどんな努力をしてもらえるのか、自分たちは何をするのかを話し合ってみてはどうでしょうか。言うだけでは実現は難しいと思います。

「より良い交通」のあり方を考える
地域検討会

■ 宮野・大殿・白石・湯田 ■



山口市都市整備部都市計画課交通政策室



11月16日(木)、宮野・大殿・白石・湯田地域を対象とした地域検討会を大殿公民館で開催したところ、11名の方にご参加いただきました。ご参加の皆様、ありがとうございました。以下に当日の状況をご報告します。

プログラム

- | | |
|--------|--|
| 18:30~ | 開会 あいさつ、資料説明
旗上げアンケート
公共交通の課題、問題点
よりよい交通に向けてのアイデア、まとめ |
| 20:30 | 閉会 |



旗あげアンケート

まずは旗あげアンケートで、皆さんの意見を聞きました。徒歩や自転車、バイクで会場にいらっしゃった方が目立ちました。しかし、公共の交通手段があれば、それを利用したいという意見もありました。



皆さんの意見

地域の実情について

- ◇市内の移動は自転車を活用しているが、山口は坂が多い。
- ◇今までは、歩行者としてのお年寄りの事故が多かったが、今は高齢運転者の事故が増えている。こういった問題に対して、公共交通を考えていかなければならない。
- ◇老人クラブの行事をしても白石公民館まで行くのに遠かったり坂があったりして来られないお年寄りが多い。
- ◇県立大学生もJRのダイヤに合わない場合は、相乗りでタクシーを利用することもある。

現在の公共交通について

- ◇バスの路線が分かりにくい。バスセンターなど拠点を定めたルートでないと分かりにくい。
- ◇高齢運転者は、脱輪したり一旦停止をしなかったり、運転適正がないのが実情。危険なので「免許返上」も考えたいが、公共交通が充実していないので難しい。まず、公共交通機関を整えないと、こういう人たちはどうにもならない。

地域に合った交通について

- ◇予約制のジャンボタクシーの乗り合い型にして、予約した人達の経路を通して運行したらよい。予約制にすることにより無駄のない運行になり、タクシーも活用出来るし、自分達も便利になる。
- ◇乗り合いなら、利用者一人一人の負担は安くつく。
- ◇いろいろな地域でバスだけではなく、タクシーを活用した便利な交通を求められている。タクシー協会も協力して欲しい。

福祉優待バス乗車証制度について

- ◇市財政が硬直化する中、70歳以上に交付するのは過保護。75歳以上への交付でよいと思う。
- ◇障がい者への手当は必要であるが、高齢者の自己負担100円は安すぎる。距離が長い場合は、もう少し負担してもよいのではないか。
- ◇福祉優待バス乗車証を持っていても、使えるバス路線がない。

コミュニティバスについて

- ◇湯田はコミュニティバスと路線バスが競合しているし、目的地まで時間がかかりすぎる。
- ◇コミュニティバスは利用状況が悪いなら廃止し、新たに交通弱者に向けてコミュニティタクシーなど始めたらよいのではないか。
- ◇タクシーに乗る層とコミュニティバスにしか乗れない層は違う。だから、コミュニティバスは必要。通っていないところには、早く通して欲しい。
- ◇コミュニティバスを運行することにより交通弱者が救われるのなら、税金を使って運行してもよい。

タクシー事業者の意見

- ◇自分達が納めた税金によって運行されるコミュニティバスのせいで自分達(タクシー事業者)が淘汰されるのは納得出来ない。行政によるコミュニティバス運行には、絶対反対である。
- ◇自由競争にまかせるべきである。自由競争にまかせたら誰かがやる。
- ◇行政は、タクシー労働者の生活権を保障するべき。タクシーには行政からは何の手当もない。

その他

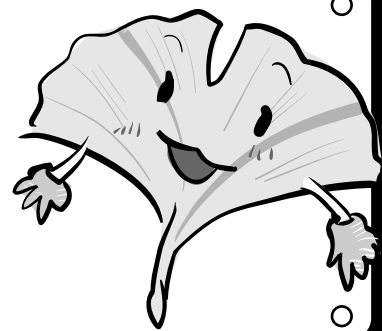
- ◇行政は市民の健康で文化的な生活を保障する義務がある。水道や道路と同じように住んでいるところにバスを通すのも市の責任である。
- ◇タクシー事業者として反対される立場も理解出来るが、むしろこういう会議でタクシーの利便性を提案され、話し合いの場として活用するべきではないか。
- ◇車いすは1.5センチの段差も乗り越えられない。商店街もコミュニティバスもバリアフリー化が必要である。
- ◇コミュニティバスを全地域に運行するのは無理なので、お年寄りがタクシーに乗ると行政がタクシー事業者に補助するといった制度も必要ではないか。



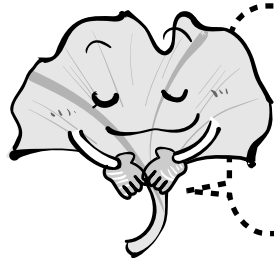
交通まちづくり委員の意見

- ◇山口市はタクシー事業者も頑張っています。徳地の地域検討会では、地元のタクシー事業者も参加され、地域の声を聴き一緒によい形を探っています。このように、自由競争でいけないところは考えていく必要があります。
- ◇この委員会や地域検討会が「今のコミュニティバスを延伸・拡大することを前提」としていないことをまず理解して欲しい。今までのコミュニティバスの成立過程には問題があったかもしれないが、それぞれの地域で実情やニーズを把握しそれを反映してよりよい方法を考えていくためにやっています。タクシー活用やバスの活用など、もう少し実情を踏まえて検討していきます、決して出来レースというわけではありません。

「より良い交通」のあり方を考える
地域検討会
吉敷・平川・大歳



山口市都市整備部都市計画課交通政策室



11月17日(金)、吉敷・平川・大歳地域を対象とした地域検討会を大歳公民館で開催したところ、26名の方にご参加いただきました。ご参加の皆様、ありがとうございました。以下に当日の状況をご報告します。

プログラム

- | | |
|--------|---|
| 18:30~ | 開会 あいさつ、資料説明
旗上げアンケート、公共交通の課題、問題点
よりよい交通に向けてのアイデア、まとめ |
| 20:30 | 閉会 |



旗あげアンケート

まずは旗あげアンケートで、皆さんの意見を聞きました。吉敷・大歳、平川地区から各々、7人ずつご参加いただきました。公共交通への不満の理由として、「時刻表がない」という意見があがり、手許にいつでも見れる時刻表があることを望む声がありました。



皆さんの意見

地域の実情について

- ◇バス停が遠いので公共交通は一度も利用していない。平川は奥が深く交通不便な地域が多く、人口も増えているので、コミュニティバスを運行して欲しい。
- ◇大歳は人口も増えているのに公共交通対策は昔のままである。
- ◇交通が不便なのでお年寄りを車に乗せてあげたいが、事故が起きた時に困る。親切が仇になる。

現在の公共交通について

- ◇今は旧市町単位の交通体系になっている。合併し、市民の一体感を醸成する上でも新市全体の新しい基幹交通網が必要。
- ◇バスで、吉敷～湯田温泉まで所要時間6分・運賃270円、山口駅～湯田温泉まで所要時間13分・運賃190円である。倍の時間がかかるのに運賃が異なるのは不合理である。
- ◇バスの接続が悪いので民間路線バスとの協議、調整が必要。

地域に合った交通について

- ◇コミュニティバスの運行していない地域は、お年寄りなどのために地域バスの整備が必要。地域内を循環して路線バスに結節すればよい。
- ◇県庁・市役所に行く路線を組まなくてもよい。病院も地域のホームドクターでいい。合併しても総合支所で用事が足せるようになっているのなら、そういう所にこそ路線が必要である。地域内を循環して近くの駅や湯田温泉のバス停につなげば、規模が小さくコストが押さえられ、かつ、便利なものになる。

コミュニティバスについて

- ◇吉敷・大歳は出張所・公民館までルートを延伸して欲しい。平川はルートを新設して欲しい。
- ◇5年間実証運行してきたのだから、ダイヤの組み替えを含めて全体のルート見直しをして欲しい。地域ごとのルートが必要ではないか。
- ◇吉敷は、民間路線バスのダイヤが少ないので、民間のダイヤ間隔を見て30～1時間おきにどちらかに乗られるようなダイヤの組み方を検討して欲しい。
- ◇路線バスとコミュニティバスが結節する場所を作る。

タクシー事業者の意見

- ◇自分達が納めた税金によって運行されるコミュニティバスのせいで自分達が淘汰されるのは納得出来ない。行政によるコミュニティバス運行には、絶対反対である。
- ◇自由競争にまかせるべきである。自由競争にまかせたら誰かがやる。
- ◇都会と違って山口では各タクシー会社のテリトリーは決まっているので、一概にコミュニティタクシーといっても実施は困難である。

その他

- ◇山大通りの歩道は段差が激しく歩行者や自転車にとって危険であるので改修して欲しい。
- ◇官公庁通勤者がまずマイカーをやめてバスを利用するべき。9号線は朝マイカー通勤ラッシュである。もう少し通勤時間帯のダイヤを増やせば県職員宿舎の方々ももっとバスを利用すると思う。
- ◇バス停に駐輪場を整備し、パーク&ライドを考えてもらいたい。
- ◇お年寄りにとって買い物は大変なので、コミバスやプティバスで、買ってもらう店舗がお金を出して「お買い物サービス」をやったらどうか。
- ◇家を建てるときには、どういう環境か考えて建てているはず。一番考えなければならないのは、もともとあった「足(路線)」が廃止されること。路線の見直しは必要である。

…などがありました。



交通まちづくり委員の意見

- ◇一番問題なのは、公共交通の利用者が減少していることです。少ないパイの奪い合いをしてもしょうがないので、マイカーをいかに公共交通に転換していくかが重要です。
- ◇今までの地域交通はバスという形態に限られていたが、乗り合いタクシーやバスとタクシーの間であるプティバスなどいろいろな選択が可能になった。バスにこだわらず、地域の実情・ニーズに合った地域交通を皆でつくっていったらよいと思います。
- ◇住民は「安さ」よりも「利便性」を求めています。
- ◇「市民も一緒に」という話は、単純に「市にお金がないから」という発想ではありません。「市民それぞれが当事者になって一緒に考えましょう」という会議です。他市では持続的な自分達の「足」を確保するために、地域の人が地域のスーパー、病院等から協賛金を集めてバスの運行につなげたという例もあります。